

9 寒い季節を快適に

教師用指導例

5年 開隆堂版 p.35

めあて あたたかい住まい方をくふうできるようになる

【学習指導要領との関連】内容C 快適な衣服と住まい

(2) 快適な住まい方について、次の事項を指導する。

イ 季節の変化に合わせた生活の大切さが分かり、快適な住まい方を工夫できること。

【アクティブ・ラーニングを意識した授業の流れ】

1 課題を見つける

説明1 前の時間では、「あたたかい着方のくふう」の学習をしました。今日は【明るく、あたたかく住まうくふう】を考えます。

指示1 家庭科学習ノート35ページを開きます。

発問1 寒くなってきました。昼間、家の中で暖かく過ごすためにどんな工夫をしていますか。

指示2 ノート【①調べよう】の表(家で行っているくふう)に書きます。(昼)と書いてから、工夫を書きましょう。上のイラスト[明るくあたたかい住まい方]を見てもかまいません。(ストーブをたく、あたたかい飲み物を飲む、日光を取り入れる、窓を開けてかん気をする……)※発表させる。

発問2 夜はあたたかく過ごすためにどんな工夫をしていますか。

指示3 同じ表に書きます。(夜)と書いてから、工夫を書きましょう。(こたつに入る、あたたかい食事をとる、部屋が冷えないように、カーテンを閉める…)※発表させる。

2 課題を追究する

説明2 先ほど暖かく過ごすための工夫で【かん気】が出てきました。ガスや石油、灯油を使う暖房器具の場合は、かん気が必要です。

発問3 かん気をするのは、どんな理由でしょう。お隣さんと相談します。(酸素が減って苦しくなるから、風邪を予防できるから、部屋の空気が汚くなるから、新鮮な空気に入れかえた方が勉強もはかどるから…)

説明3 かん気をする一番の目的は、一酸化炭素中毒を防ぐためです。
※一酸化炭素中毒…換気をしないで暖房器具(室内の酸素を消費するもの)を使用すると、酸素不足で不完全燃焼が起き、一酸化炭素が発生する。一酸化炭素はとても毒性が強い気体で、吸い込むと頭痛や吐き気、めまいなどを引き起こし、最悪の場合死にいたる危険性がある。

説明4 今から学校で暖かく過ごす工夫を考えます。家とは違うところがたくさんあります。前の時間で学習した【あたたかい着方をくふうしよう】も参考に考えます。

指示4 ノート【①調べよう】の表(学校で行っているくふう)に書きます。

指示5 まず【明るく住まうくふう】が書けたら持ってきます。

※持って来た子から板書させる。表は簡単に板書しておく。

3 討論する 4 異なる考えを認める

発問4 よりエネルギーを節約して、あたたかく明るく過ごすくふうは何ですか。表に書いて(節)と書いてから、工夫を書きます。

指示6 それでは黒板の前で発表してもらいます。

指示7 何か質問や付け足し、反対意見がある人いますか。立って意見を言います。質問、反対意見が出されたら、書いた人は必ず立って答えます。答えられない時は、「調べます」とか「答えられる人はいますか」と聞いてみます。

(・ストーブをつける前に暖かい服装をしてくるように声かけすると良いと思います。

・カーテンを閉めると、室内の温度が下がりにくいという意見に反対です。日が出ているうちはカーテンを開けて日光を取り入れたほうが、教室が明るくあたたかくなります。

・学校の電気をLEDに変えて明るくするのは、とても良い意見だと思います。でもお金がないからすぐにはできないと思います。

・窓をきれいにふくと、より日光が入りやすくなり、教室が明るくなると思います。

・あたたかい給食の意見に付け加えて、冬はあたたかい牛乳を出してほしいです。

・重ね着をするなど、あたたかい服装をする意見に加え、冬用に長袖の体操服があるとよいと思います。)

5 まとめる

指示8 ノート35ページの【②生かそう】。家庭でできる寒い季節を快適に過ごす工夫を書きましょう。※発表させる。

説明5 家や学校で明るく住まうためには、いろいろな工夫がありました。自然の力を利用して、快適に過ごすくふうを家庭でも実践していきましょう。

指示9 ノートの【自由ノート】に感想を書きます。

※【自由ノート】に書かせる前に、資料【エコ暖房であたたかく】を読んで確認する。

板書の例

	家で行っているくふう	学校で行っているくふう
明るく住まうくふう	(昼) 日光を取り入れる。 (夜) 照明をつける。	暗い場所では照明をつける。
あたたかく住まうくふう	(昼) 重ね着をする。 (夜) エアコンをつける。	(節) 日光を取り入れて、教室をあたたかくする。
かん気のしかた	(昼) 窓を開ける。 (夜) かん気せんを回す。	窓を開ける。